

タイトル「【新 NISA 入門】50 代・60 代の未来設計！老後を支える株投資、資産運用と新 NISA のポイントを全網羅！」

イントロダクション

こんにちは、〇〇です。今日は、**2024 年**からスタートした**新 NISA**について、**50 代・60 代**の方でも無理なく取り組める株式投資と資産運用の方法をご紹介します。また、最後まで動画を見ていただくと、安心して老後をおくるための特別なプレゼントを用意しています。最後まで視聴してぜひ受け取ってください。

さて、**50 代・60 代**になると、退職後の生活資金が気になりますよね。例えば、退職金などで**1000 万円**の現金があるとします。毎月**6 万円**ずつ取り崩していくと、わずか**13 年**でその資金は枯渇してしまいます。しかし、**新 NISA**を上手に活用すれば、老後の資産の寿命を大きく伸ばすことができます。例えば、その**1000 万円**を**新 NISA**で低コストのインデックスファンドに投資し、年率**5%**のリターンを得られたら、**13 年**ではなく、なんと**23 年**もの間、安定的に資金を確保できます。**新 NISA**は、**50 代・60 代**の方にこそ、大きなメリットがあります。税制優遇を受けながら、長

期的な視点で資産を築いていくことができるからです。今日は、新 NISA の基本的な仕組みから、おすすめの運用方法、注意点まで、50 代・60 代の方に向けた新 NISA 活用術を余すところなくお伝えしていきます。お金の不安を少しでも和らげ、豊かな老後を送るためのヒントになれば幸いです。今回のお題目はこちらの 5 つです。まず、

1 つ目は、50 代・60 代が資産形成をするのが遅くない理由です。

2 つ目は、50 代・60 代のおすすめの投資銘柄を紹介します。

3 つ目は、50 代・60 代の基本戦略と新 NISA の活用法です。

4 つ目は、50 代・60 代こそ、最重要！取り崩し方の検討です！

最後にまとめです。こちらの流れで動画が進行していきます。それでは、早速始めていきましょう！まずは 50 代・60 代の方が新 NISA を活用して資産形成を始めるのに遅すぎることはありません。その理由を深掘りしていきましょう。一つ目は、投資期間は意外と長く取れることです。

50 代・60 代になると、「投資を始めるには遅すぎる」と考える方が多いですが、実際にはそうではありません。まず、全世界株式などの低コストファンドは、投資期間が長いほど元本割れのリスクが低くなります。これ

は、短期的な市場の変動に左右されにくくなるためです。金融庁の積立て NISA の資料でも保有期間が 20 年間の場合、元本割れがなくなり、2% から 8% の運用結果に収束すると示されています。

次に、50 代・60 代の方でも、十分に長い投資期間を確保することができます。例えば、2024 年に 50 歳の方が 2044 年の 70 歳まで毎月 5 万円を新 NISA で投資し、利回り 8% で運用した場合、元本 1200 万円に対して運用結果は 2945 万円になります。預金ではなく投資していればなんと約 1600 万円の利益が得られます。これは大きなりターンだと思いませんか？。この場合新 NISA の非課税額は約 330 万になります。

このように、50 代・60 代からでも、十分に長い投資期間を確保することができます。

二つ目は、運用を継続しながら取り崩すことで、資産寿命を延ばせることです。

50 代・60 代の方が新 NISA を活用する際に重要なのが、運用と取り崩しのバランスです。皆さんに質問です。10 年後にまとまった資金が必要ですか？多くの皆さんは年金プラス取り崩した資金があれば大丈夫な方が大

半ではないでしょうか。そう考えると、毎月取り崩していくのが現実的です。

例えば、**60 歳の方が 2000 万円**の投資元本を運用継続しながら **2024 年**から毎月 **20 万円**を取り崩した場合、**2037 年の 83 歳**まで資産を持つことになります（資産寿命は **13 年と 4 ヶ月**）。つまり、運用を継続しながら必要な分だけ取り崩していくことで、資産寿命を大幅に延ばすことができるのです。

さらに、毎月の取り崩し金額を年金 **2000 年問題**で指摘された年金以外の不足金額 **6 万円**にすると、資産寿命が枯渇せず、増えていきます（利回り **8%**の場合）。これは、取り崩し金額を抑えることで、運用による利益が取り崩し額を上回るためです。

このように、運用を継続しながら計画的に取り崩していくことが、**50 代・60 代**の方が新 **NISA** を活用する上で非常に重要なポイントなのです。

しかしながら、**50 代 60 代**の方から「現預金ですべてもっておくのが安心では」という意見を聞くことがあります。その意見に対してのアンサー（答え）は「現預金だけでは資産寿命が短い」です。詳しく解説していこうと思います。

多くの 50 代、60 代の方々は、退職後の生活資金について不安を抱えています。現金のみの預金では、インフレ率の上昇や予期せぬ出費が発生した場合、想定以上に早く資金が底をつくリスクがあります。特に、日本のような低金利の経済状況では、預金の利息だけでは資産の保全が難しいのが現実です。例えば、先ほど 2945 万円を 70 歳に、毎月 15 万円を引き出していく場合、約 15 年 10 ヶ月で資金は尽きてしまいます。伸びた資産寿命も 70 歳で止めてしまったため、資産拡大ペースはそこで終わりです。

突然ですが、みなさんはこんな情報を耳にしたことはありますか？ 100 歳以上の高齢者は 1980 年には 1000 人以下でしたが、2012 年ではその 50 倍の 5 万人を超えています。（厚生労働省の資料から抜粋）このように 平均寿命を大きく上回る現代において、資金不足に陥る可能性が高いです。一方で、この 1663 万円を賢く投資に回すことで、資産の寿命を延ばすことができます。低コストのインデックスファンドなどの投資商品を利用することで、先ほどのように資金の持続期間を 20 年以上に延ばすことができます。

さらに新 NISA は非課税なので、さらに資産寿命が伸びてとてもお得に投資を行なえます。このように投資はリスクを伴いますが、適切な戦略と分

分散投資を行うことで、そのリスクを管理しながら資産を増やすことができます。

「投資をすれば資産は増えるというのは分かったが、じゃあどこに、どの銘柄に投資をすればいいのかわからない」という皆さんの新たな悩みが出てきたと思います。心配いりません。私が 50 代 60 代の方におすすめの銘柄を厳選してきました。

詳しく解説していこうと思います。50 代 60 代の方々におすすめの銘柄は「eMAXIS Slim 全世界株式」です。全世界株式への投資は、特に 50 代 60 代の投資家にとって多くのメリットを提供します。全世界株式に投資することで、一国の経済状況や特定の市場の波動に依存するリスクを大幅に減らすことが可能です。eMAXIS Slim 全世界株式（通称オルカン）は、47 カ国の株式市場に分散投資を行っています。全世界株式への投資の主な特徴は以下の 3 つです。

1 つ目は、安定したリスク分散です。一国や一地域に依存しない広範囲な分散投資により、世界的な自然災害のリスクや地域固有の経済危機から資産を保護できます。eMAXIS Slim 全世界株式は、その過去 30 年間の平均

リターンが **9.0%**、リスク（標準偏差）が **18%**というパフォーマンスを持っています。この数値は、

長期投資において安定した成長と適度なリスクのバランスを示していて、特に退職後の資産を管理する上で理想的です。

2つ目は、経済成長の恩恵を受けられることです。オルカンのポートフォリオは **47** カ国が投資対象です。日本も含まれています。まず約 **60%**を米国株が占めており、テクノロジーなどの成長セクターが強い影響を与えています。残りの約 **40%**は **30%**が先進国、**10%**が新興国です。先進国市場は政治的・経済的安定性が高く、安全な投資先とされています。新興国市場は高い成長ポテンシャルを秘めており、これからの成長に期待ができます。では具体的にオルカンの組み入れ銘柄を見ていきましょう。

マイクロソフト **4%**、アップル **3.4%** エヌビディア **3%**、アマゾン **2.3%**、
G グーグル（アルファベット A） **1.2%**、グーグル（アルファベット C）

1.1 %、ブロードコム 0.8%、台湾セキタイ、デンロセイゾウ 1%、イーライリリー0.8%です。2024 年 3 月時点

これを見ると分かる通り、47 カ国あると言いつつ実際はほぼアメリカ企業なんです。現状アメリカ企業が非常に強いことがわかります。ちなみに一つだけ台湾企業が入っていました。これは人工知能（AI）に使用される半導体を扱っている企業です。AI ブームにより世界的に半導体の需要が高まっているため、投資先の銘柄に組み込まれていると推測されます。

このような、全世界株式の構成銘柄の決まり方は時価総額加重平均型が使われています。

この方法は、特に広範な市場に投資する場合に有効であり、明確なメリットがあります。それは自動調整機能です。企業の市場価値が増減すると、その企業に対する投資の割合も自動的に調整されます。これにより、時代に適した強い企業への投資比率が増え、リスクが低下します。また、投資家は個々の銘柄選定に時間をかけずに市場の成長に伴う利益を受けられます。この方式は、大規模な分析や個別評価を不要にし、ファンド内での銘柄の再バランスも自動で行われるため、投資管理が簡単になり、安心して投資を続けることができます。

そして最後の3つ目は信託報酬の低さです。オルカンの信託報酬は0.05775%です。eMAXIS Slim 米国株式（S&P500）の信託報酬は0.09372%、たわらノーロード S&P500 の信託報酬は 0.09372%です。他と比べて低いことがわかります。低い信託報酬は長期的な投資において、投資家の手元に残るリターンを最大化する重要な要素です。ここまではオルカンの概要からの特徴・利点を話してきました。

いまからは私がおすすめする理由を話していこうと思います。このオルカンは、なんとノーベル経済学賞でも登場した指数なのです。オルカンの良さは1990年にノーベル経済学賞を受賞した「現代ポートフォリオ理論」に基づいています。全世界の企業が対象であること、時価総額に応じて自動的にその時に勢いのある企業に銘柄が組み換えられることにより、最も効率の良い投資が可能です。

そして、ニュースに左右されないことです。毎日、テレビのニュース情報を監視する日々はいやではありませんか？

オルカンの投資は、特定の国や地域の経済ニュースによる影響を受けにくいのです。例えば、ある国で政治的な不安があったとしても、ポートフォリオ全体に対する影響は限定的であり、安定した投資成果を期待できます。

さらに、自動的にバランスが調整されるため、急な市場変動に対する対応も迅速に行えます。そのため、安心して日々の生活を楽しみながら投資ができます。

ここまでは、私がおすすめる銘柄について詳しく解説してきました。

次は皆さんが気になっている、50代60代の投資の基本戦略と新NISA活用術について話していこうと思います。50代60代になると、多くの方が退職を控えており、安定した資産運用が重要になります。なので50代60代の投資の基本戦略は守りが重要になってきます。このアプローチについて説明します。

まず「100 - 年齢」の法則の適用です。この法則に従えば、例えば60歳の方は、40%を株式などのリスク資産に、残りの60%を債券や定期預金などの安定した資産に配分します。これにより、市場の変動に強いポートフォリオを構築でき、収入源が少なくなるリタイアメント後の生活をサポートしてくれます。次は流動性の確保です。急な出費や予期せぬ事態に対応するために、一定の割合で現金や現金と同じ価値の様な物を保持することが推奨されます。これにより、市場が不安定な時でも安心して過ごせます。

そしてリスク管理です。投資においてリスクを完全に避けることはできませんが、リスクを管理することで精神的な安定を保ち、投資の継続が可能になります。具体的には、投資の分散、資産の再バランス、及び定期的なポートフォリオの評価が含まれます。

「守り」の重要性を説明したところで次は新 NISA について深掘りしていこうと思います。

これまでの NISA は、非課税期間 20 年間、投資期間にも制限がありました。投資枠も合計で 160 万円でした。それに比べると新 NISA は非課税期間、投資期間、無期限で枠も合計で年間 360 万円、生涯で最大なんと 1800 万円までの投資が非課税で行えます。投資可能枠も再利用可能になりました。これにより、長期的な資産増加を目指すことができ、リタイアメント後の生活を支える強力なツールとなります。

しかしながら、この枠を埋めるために、生活費や娯楽を削り投資を行うことはおすすめしません。切り詰めて投資をしてしまいますと、投資を行うことが事態がストレスになり投資をやめ、売却をすることにつながってしまいます。みなさんこんなインタビューがあるのを知っていますか？

海外のラジオのライターの方から、資産運用会社 **CEO** の方へのインタビューがありました。

この番組で両氏が短期間で運用を行うほど運用成績が悪化するということについて話した際、**CEO・Shaughnessy** 氏は、運用成績がよかった人の属性はなんと、「口座を持っていたことを忘れていた人たちだった」と答えているのです。

このインタビューからわかることは、投資商品の値上がりに日々気をすり減らすこと、そしてやっぱり売ろうかなと考えること自体が投資を失敗させる要因になることだと思っています。このように投資の結果に一喜一憂しないよう、心理的に安定した状態で投資を続けることができるような計画を立てることが重要です。これには、投資額を定期的に見直し、市場の動向に過剰反応しないような心構えが求められます。

新 **NISA** や投資の心構えについておさらいができたところで、早めに投資を開始する重要性について解説したいと思います。

やはり投資は一刻も早く始めるほど、その効果を最大限に享受することができます。50代からでも遅くはなく、特に新NISAのような税制優遇がある制度を利用すれば、そのメリットはさらに大きくなります。

長期にわたる投資は、複利の効果を最大限に活用することができます。改めてシミュレーションしていくと、55歳から70歳までの15年間、毎月6万円を新NISAに通じて投資した場合、平均9%の年間成長率で約2200万円に成長する可能性があります。仮に2200万円になった場合、資産寿命は何年になるでしょうか？

2200万円を利回り9%で運用しながら毎月10万円取り崩したら、資産寿命はなんと枯渇しないという風なシミュレーション結果となります。もし、突然の病気や事故で万が一のことがあったとしても家族に多くの資金を残せることができます。

そして投資は「積み立て」も重要な要素になっています。

積立投資は、市場のタイミングを気にせずに定期的に投資を行う方法です。この投資法では、毎月または定期的に一定額を投資することで、市場の価格変動の影響を受けにくくなります。これにより、市場の上下動に左右されることなく、長期的に見た場合の市場の平均的なリターンを目指す

ことができます。この方法は、特に投資経験が少ない方や、大きな金額を一度に投資することに抵抗がある方に適しています。

積立投資の大きな利点は、ドル・コスト平均法によるリスクの分散です。

ドル・コスト平均法とは、一定の金額を定期的に投資することで、高値の時は少なく、低値の時は多くの資産を購入することができる方法です。これにより、投資のタイミングを計る必要がなく、市場の短期的な変動に振り回されることなく、積極的に資産形成を進めることが可能になります。

また、積立投資は自動的に行うことが多いため、一度設定してしまえば、その後は特に手間をかけずに投資を続けることができます。これにより、忙しい日常生活の中でも、コンスタントに投資を行い、将来的な資産増加を目指すことができるのです。積立投資は、特に長期的な視点で資産を増やしていく戦略に適しており、リタイアメント資金の形成や大きな買い物のための貯蓄など、将来の大きな目標に向けて資金を確実に蓄えていくための有効な手段です。

そして 50 代と 60 代の皆さんには、資産の「消費」することを忘れないでください。40 代以下の方々は、全世界株式に投資して資産を増やすことに集中すれば問題はありませんが、50 代と 60 代の方々は、資金の使い道に

もっと意識を向けるべきです。市場には多くの便利で無料の計算ツールが存在しており、それらを利用して、皆さんの資産や家庭状況に応じた月々の必要額や、安心できる現預金の額を見積もることを推奨します。

積立投資、「消費」の意識を解説してきたところで次は 50 代 60 代にとって最も重要な資産の取り崩し方についてフォーカスして話していきたいと思います。リタイアメントを迎えるにあたり、多くの人が定期的な収入源を必要とします。そのため、資産の効果的な取り崩し戦略はリタイアメント生活の安定に不可欠です。

資産の取り崩し方には、いくつかの戦略があります。定額売却、定率売却、期間売却を選ぶことができます。それぞれ紹介していきます。

定額売却は毎月または毎年一定額の資産を売却し、その収益を受け取る方法です。

これにより、収入の予測が容易になります。

定率売却は資産の総額に基づいて売却する割合を設定し、その割合に応じて資産を売却します。市場価値の変動に応じて収入が変動するため、柔軟性が保たれます。期間売却は特定の期間内で資産を段階的に売却し、その

収益を受け取る方法です。これにより、特定の計画に基づいて収入を管理することが可能です。

定期売却サービスを利用することで、資産の管理が自動化され、日々の資産監視から解放されます。これにより、リタイアメント生活をより快適に過ごすことができます。また、市場の変動に左右されずに計画的な収入が得られるため、金融的な不安を軽減することができます。

次は主要な証券会社が提供する定期売却サービスを紹介していきます。今回は楽天証券と **SBI** 証券という二つの主要証券会社が提供するサービスを詳しく見ていきます。楽天証券は、定額、定率、期間売却の全オプションをサポートしており、顧客が自分のニーズに最も合った方法を選択できます。これにより、顧客は市場の変動に対応しながらも、予測可能な収入を確保することができます。また、楽天証券のインターフェースは使いやすく、オンラインで簡単に売却計画を設定し、調整することが可能です。

SBI 証券は現在、定額売却サービスを提供しており、定率売却サービスの導入を検討中です。

このサービスにより、利用者は一定の収入を毎月または毎年得ることができ、資産の大部分を市場のリスクから保護しながら効果的に管理すること

が可能です。**SBI証券**は低コストでサービスを提供しており、特にコストを抑えたい顧客にとって魅力的な選択肢となっています。

現在、楽天証券と**SBI証券**はともに**NISA**口座での定期売却サービスを提供していませんが、特定口座では利用可能です。将来的には**NISA**口座でもこのサービスが利用できるようにしてほしいですね。

エンディング

最後までご視聴いただき、ありがとうございました。今回は、新**NISA**を活用して**50代・60代**の方々が資産運用にチャレンジするためのポイントをお伝えしました。投資は若い世代だけのものではありません。特に**50代・60代**の方々は、退職後の生活資金を増やすためにも、新**NISA**を賢く使って資産を形成することが大切です。新**NISA**のメリットを理解し、不安を感じていた方も、今日の解説でその不安が少しでも軽減されたことを願っています。投資可能期間が短いとを感じるかもしれませんが、計画的に行えば、リタイアメントに向けた資金作りに大きな助けとなるでしょう。

ご自身の資産状況を見直し、いくら投資に回せるのか、毎月の取り崩し額はいくらが適切か、ぜひシミュレーションをしてみてください。そして、今日ご紹介した内容を参考に、無理のない範囲で新**NISA**を活用し、安定

した老後を迎えるための一歩を踏み出してみてはいかがでしょうか。最後に、ここまで動画を見てくれたあなたは老後は豊かに経済的な不安を抱えずに暮らしたいと考えられていると思います。そこで、景気に左右されずに安心して利息収入だけで暮らすための資産運用術をプレゼントします。動画の概要欄に公式 **LINE** のリンクを貼っておきますので、そちらから友達に追加してください。その後、メッセージで **NISA** とアルファベット **4** 文字を送ってください。景気に左右されずに安心して暮らすための資産運用術についての動画をプレゼントします。概要欄の公式 **LINE** に登録した後、メッセージで **NISA** と **4** 文字だけ送ってください。プレゼントが送られます。

このチャンネルでは、これからも皆様の資産運用に役立つ情報を発信していきますので、ぜひチャンネル登録をお願いします。またのご視聴を心よりお待ちしております。それでは、皆様、賢い投資で豊かな未来を築いていきましょう。

